



H290823

第5回準備会資料
(前回までの議論の確認)

「民都・大阪」フィランソロピー会議の検討 ～アジアの民都(公益首都)をめざして～

「民都・大阪」フィランソロピー会議等の構成イメージの確認

(仮称)大阪フィランソロピー会議に向けた準備会 (H29.4～)

「民都・大阪」に向けた取組み趣旨、「民都・大阪」フィランソロピー会議等に賛同する各セクターの法人・団体のトップ層を加え、準備会を拡大

「民都・大阪」フィランソロピー会議の設立趣意書を作成

準備会メンバーが、「民都・大阪」フィランソロピー会議の当初メンバーに就任

今後の主な論点：「民都・大阪」フィランソロピー会議の立上げ手法、設立趣意書文案など

「民都・大阪」フィランソロピー会議

社会的課題解決に取り組む多様な主体が、法人格の縦割りや営利・非営利の区分を超えて一堂に集い、大阪の民の連携・協力を促進し、その存在感を国内外に示す核となる場

構成



分科会リーダーも参画

法人格の縦割りや営利・非営利を超えて、それぞれの法人・団体を代表するトップ層で構成
ジェンダーバランスや世代間バランスを考慮する

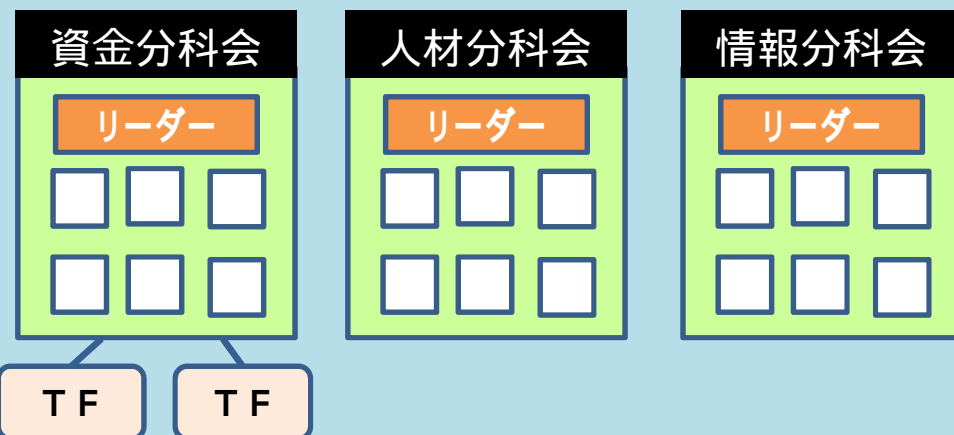
- * フィランソロピー促進に向けた課題抽出や取組みについての議論、新たな連携や協働の促進、情報発信
- * 分科会の設置決定やリーダーの選任、分科会の成果の共有・具体化等

今後の主な論点：開催頻度や人数規模、メンバー選任の考え方・手法 など

設置

分科会

大阪で活躍する多様な主体に共通する課題の解決につながる新たな仕組みづくりなどの検討を行う
 社会的課題の解決につながる従来とは異なる新たな手法や、複数の社会的課題の解決につながる
 新たな連携などについて検討を行う



まず「資金」「人材」「情報」の分科会を設置。
 それぞれの課題分析や優先課題の抽出を行う
 必要に応じ、タスクフォース（TF）を設置
 分科会・TFにはリーダーを置き、原則として、
 リーダーの自主的な運営にゆだねる
 （メンバーの選定、分科会の開催・議題 など）
 分科会等の検討状況は、適宜、各リーダーから
 「民都・大阪」フィランソロピー会議に報告

【参考】：資金・人材・情報の課題例

分野	社会的課題(例)	資金(課題例)	人材(課題例)	情報(課題例)
福祉・人権・医療	高齢者・子ども・障がい者対策、 貧困・失業対策、LGBT、外国人	・ファンドレイジング ・クラウドファンディングの活用	・高齢化、後継者不足 ・人材の採用・育成、賃金	・情報ネットワーク構築 (収集・共有・活用・発信)
まちづくり・社会	安心安全のまち、防犯、マナー・モラル 地域コミュニティ、環境・緑化、観光・文化	・社会的投資促進 ・寄附文化の醸成	・人材確保、大学との連携 ・人材バンク、ジョブネット	・IoT、AI、SNS等の活用 ・海外との交流
経済・産業	エネルギー、規制緩和、雇用・就業 中小・ベンチャー企業支援、IoT・AI	・税制優遇、ふるさと納税 ・ファンド・基金組成 ・遺贈・休眠預金の活用	・企業人材・シルバー人材・ プロボノの活用 ・運営コンサルタント人材の育成	・活動の評価付け ・特区制度の活用 ・ロビー活動(要望・提言)

今後の主な論点：分科会の検討の進め方、会議メンバーによる担当制、リーダー・メンバーの選任、設置時期 など

事務局

今後の主な論点：これらを支える事務局機能、民による組織運営 など